

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組13	地域の方で街を育てる地域カポイント制度
②対応する目標・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域レベルでのエネルギー効率利用と低炭素化という課題に対し、エネルギー効率利用・低炭素化のモデル街区を実現する。 ・多様な移動ニーズに対応する公共交通システムの欠如という課題に対し、人と環境に優しく、自律都市を支えるITSスマートタウンを実現する。 ・状態維持・改善に資するサービス供給不足及び参加率の低さという課題に対し、トータルヘルスケアステーションの創設によるサービス参加者を増加させる。 ・疾病・介護予防につながる元気高齢者の生きがい創出という課題に対し、元気高齢者の活躍できるコミュニティを構築する。 	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標：地域カポイントプログラム加入者数	■目標値：0名⇒1,000名
<p>④取組内容</p> <p>柏の葉キャンパスで実施される地域活動、社会実験の参加者に対し、共通のポイントを付与し、貯めたポイントを地域に寄与するイベント・サービス購入の際に利用できる仕組みを構築する。これにより、街づくりの様々な取組みの相乗効果を高め、地域の力を地域に結集させる。また、周辺店舗の会員カード、オフィス入館証、交通系ICカードなどと、カードやポイント等を共通化することで、運営コスト軽減とカード携帯率を向上させ、持続性のある仕組みとする。各種カードを共有化することで、社会実験データをはじめ、生活全般のデータの効率的な蓄積、多角的な分析が可能となり、大学の知の獲得にも効果を発揮する。</p> <p>【利用イメージ：地域活動の促進】</p> <p><ポイント獲得></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の植栽管理(かしはなプロジェクト) ・節電による省CO2(エコクラブ) ・防犯・防災パトロール <p><ポイント利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の市場(マルシェ・コロール) ・共同自転車利用(柏スマートサイクル) ・生涯学習受講料(UDCKまちづくりスクール) <p>【利用イメージ：社会実験分析】</p> <p>統合データ分析により、ライフスタイル、ワークスタイル全般についての新たな知の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチモビリティシェア(社会実験) ・店舗での買い物 ・オフィスの入館時間 		
⑤エリア 柏の葉キャンパスエリア		
⑥主体 UDCK(地域共通、社会実験認証カードを担当)、三井不動産㈱(店舗の共通販売促進ポイントを担当)		
⑦活用した国等の制度		
<p>⑧地域の関与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏市まちづくり公社による、UDCKへの人員派遣および活動拠点の管理支援 まちづくりの専門員3名、事務担当5名の合計8名の人員派遣、および活動拠点の管理支援(平成26年度) (平成18年度より措置／平成20年度より平成23年度予算額 1,300万／年) ・柏市・東京大学・千葉大学 「柏の葉国際キャンパスタウン構想」のフォローアップに係る費用として、UDCKが中心となる各種事業推進や情報発信等に係る費用をそれぞれ負担。 (平成20年度より措置／平成23年度予算額 各300万円) 		
⑨スケジュール		
23年度		
24年度	システム構築作業	
25年度以降	システム稼働	
<p>⑩他の取組との連携</p> <p>取組名：駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備 連携内容：エネルギーの見える化から導かれるピークシフト、ピークカットのインセンティブとしてポイントの活用を検討</p> <p>取組名：ホワイト証書によるカーボンオフセットシステムの構築 連携内容：家庭で省エネした分のCO2を経済的価値＝地域カポイントへ替える</p> <p>取組名：マルチ交通シェアリング・システムの拡充 連携内容：環境に優しい本交通システムへの移行促進のためにポイント・インセンティブ制度や、シェアリング車両のポート間の偏在を解消するための車両移動協力に対するボーナスポイントの発行等、一体的な推進により相乗効果を図る。</p> <p>取組名：柏ITS情報センターの設立 連携内容：電車等の乗車、マルチモビリティシェアリングなどの新交通システムの認証、電子マネーでの買い物など、様々な利用が可能な共通ICカードが構築されることから、様々な移動情報の集約、他の生活データとの連携が容易となり、ITS情報センターの情報蓄積に大きな効果を発揮する。</p> <p>取組名：健康未来都市かしわ宣言 取組名：元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築 ～東京大学高齢社会総合研究機構・監修～ 連携内容：市民健康サポーターの活動実績に対するポイント活用を検討</p> <p>取組名：大学・研究機関発ベンチャーを対象とした総合的支援 連携内容：地域の創業支援活動への寄与におけるポイント付加の検討</p> <p>取組名：個人(インフルエンサーやエンジェル)による創業支援のモデルケースの実現 連携内容：TEPの地域における活動への寄与に対するポイント付加の検討</p> <p>取組名：アジアのベンチャーをネットワーク化する“Asian Entrepreneurship Award”の開催 連携内容：TEPを通じた地域における活動への寄与に対するポイント付加の検討</p>		
<p>⑪自立・自律の方針・目標</p> <p>他都市で導入されている地域ポイントの多くは、行政コスト削減のためのボランティアへのインセンティブ付与を目的としているが、地域が主体的に地域活動を進めている本エリアでは、活動間の横の連携を高め、地域の自律性を加速させることが目的である。そのため、行政に依存したシステム運営とならないよう、民間の商業系システムや研究データベースとの連動を図ることで、システム運営費を軽減し、システム利用料を外部から徴収できる街のインフラ機能を備えるものである。以上のように、本システムは、市民、大学、企業など地域に支えられた運用により、地域の様々な関係者に便益を与え、結果、キャンパスタウン実現に寄与するものである。</p> <p>市民活動、大学研究、商業活動が連携した自律的な地域活性化プログラムとして、他地区にも展開可能と考えられる。取組「元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築」、取組14「ローカルルールに基づく道路等の区域の柔軟な維持管理」と一体的に進める。</p>		